

新潟中央短期大学 教員養成の状況

(教育職員免許法施行規則第22条の6関係)

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

(1) 教員養成の目標及び計画

教育目標 子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者

新潟中央短期大学は建学の精神に基づき実学主義を背景に、現代社会が求める多様で質の高い保育ニーズに対応できる専門性を備えた保育者の養成を目標としています。

<育てたい学生像>

- ①人間と自然を愛し、子どもの成長と発達についての専門的知識を身につけている。
- ②子どもの発達を援助する技法や保育の表現技術を身につけている。
- ③保育者としての自覚と責任感を持ち、社会性や対人関係能力を身につけている。

(2) 教育課程の編成

教育課程は2年間の修業年限の中で、教養科目と専門教育科目が体系的に編成されており、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の同時取得が可能となっています。

①教養科目

教養科目は現代的知性を獲得すると同時に、専門性の土台を築く教養を身につけることが第一の目的です。人文・社会科学・自然科学のそれぞれの科目と、国際化時代に対応した外国語コミュニケーション科目、身体表現の養成に重きを置いた体育科目を開設しています。

②専門教育科目

専門教育科目は保育現場を中心にした人材の育成に照準をあて、効果的なカリキュラムを組んでいます。芸術的感性と技術を磨く保育表現系科目、カウンセリングマインドの習得に向けた心理系科目、低年齢児保育ニーズの高まりに対応した乳児保育系科目などのほかに、児童福祉の理念と援助技術、地域レクリエーション活動の指導法を学ぶ科目など、多様で充実した科目が用意されています。

③各科目の配置

1年次に教養科目と専門教育科目の必修科目を中心にした講義と演習・実習が生まれ、2年次に専門性のより高い専門教育科目と選択科目及び実習が配置されています。

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

(1) 教員の養成に係る組織、教員数、各教員が有する学位及び業績

○ 教職に関する科目

[専任教員]

[教授 笠井 友治郎](#)

[准教授 小川 崇](#)

[准教授 久保田 真規子](#)

[准教授 白井 智佳子](#)

[准教授 永井 裕紀子](#)

[准教授 福原 英起](#)

[講師 渡邊 彩](#)

[非常勤講師]

非常勤講師 中島 孝子

非常勤講師 木村 厚子

非常勤講師 梅田 優子

非常勤講師 佐々木 宏之

○ 第66条の6に定める科目

[専任教員]

[教授 坂内 寿子](#)

[准教授 福原 英起](#)

[非常勤講師]

非常勤講師 マツ・エングハリー

非常勤講師 梅田 純子

非常勤講師 東川 輝久

非常勤講師 鈴木 翔

○ 教科に関する科目

[専任教員]

[教授 石本 勝見](#)

[教授 坂内 寿子](#)

[教授 村木 薫](#)

[准教授 斎藤 竜夫](#)

[非常勤講師]

非常勤講師 武田 英徳

非常勤講師 錦 恵美子

(2) 各教員が担当する授業科目 ([シラバス](#))

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

- (1) [教員養成に係る授業科目](#)
- (2) 授業科目ごとの授業方法、内容、年間授業計画 [\(シラバス\)](#)

4. 卒業者の教員免許状の取得状況及び教員への就職状況に関すること

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
幼児教育科	卒業者数	78	80	84
	幼稚園教諭二種免許状 取得者数	73	73	75
	幼稚園・認定こども園 就職者数	11	19	28

5. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

- (1) 学習成果の設定
建学の精神に基づく教育目的・目標の実現に向けて27項目の学習成果を定めています。
- (2) 教育課程編成
2年間の課程で学習成果を獲得するために「授業構成について」に基づいて、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格に加えてレクリエーションインストラクター資格の同時取得を可能とする教育課程を編成し履修基準を設けています。
- (3) 授業計画・教育プログラムの策定
中でも、少人数制教育のメリットを活かし、ゼミナール形式で行われ、独自の授業内容で計画・実施している「保育・教職実践演習」、授業と行事が一体化した「ミュージカルの制作・実演（科目：表現活動指導法）」、学生の社会的活動として実施している「出前保育」は本学の特色ある教育プログラムとなっています。
- (4) 入学前学習
入学予定者を対象にプレカレッジ（入学前学習）を実施することで入学後の学生生活に無理なく適応できる教育プログラムを計画・実施しています。
- (5) 行事
多角的な視点と感覚をもった保育者を養成するため、海外の幼稚園・保育所を訪ね、子どもたちや保育者と触れ合いながら見学・観察実習を行っています。